

平成29年度豊水小学校・前期学校評価について

紅葉の候、豊水小学校保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。前期末にお願いしました前期の学校評価アンケート大変お世話になりました。全児童、全保護者、学校評議員、全職員のアンケート結果を集計して、その結果を検討し、前期の学校評価といたしましたのでお知らせします。

【課題と改善点】

○児童の評価から見えてきたこと

児童67名の評価では、22項目全てが平均値3.5以上の結果となっています。また、28年度末よりもよい評価となったものも、15項目になっています。全体としては、子供たちは、前期を充実して過ごすことができたと思えていないかと思えます。しかし、この結果に安心せず、28年度末の評価を基に重点目標として取り組んできた次の項目に今後も継続して取り組んでいきます。

【心に残る道徳の授業づくり】

【よく考え発表し、学び合う授業づくり】

【自己肯定感の育成】

【読書活動の推進】

○保護者の評価から見えてきたこと

平成28年度後期の学校評価では、前期より少し改善した状況が見られました。今回29年度前期のアンケートでは、項目20項目中6項目が、昨年後期の平均を上回り、2項目が下回る結果であり、さらによくなってきています。しかし、平均が3を下回った2項目、これは前回も同様の結果でしたが、「言葉遣いの指導・・・平均2.8」「家庭でのしつけ・・・平均2.9」については、家庭教育に関わる内容でもあるのでPTA活動や研修を通して教育力を高めること、また学校においてもその啓発等に取り組んでいくことが必要と考えています。

ご意見としては、「挨拶や返事ができていない」「運動会の内容の工夫が欲しい」「プール開放ができなくて残念だった」等がありました。来年度に向けて検討していきたいと思えます。

○学校評議員の評価から見えてきたこと

10月17日に学校評議員会を開き、前期の取組等についての評価とご意見を聞かせていただきました。評価では、20項目中13項目が28年度後期の評価より高い評価を頂きました。また、全ての項目が、平均値3以上の評価でした。「豊水小の子供たちは、登校時刻も早めに登校できており、挨拶もよくしてくれる」「男女の仲もよくいじめ等も耳にしたことがない」といったお話も聞かせていただきました。今後さらなる充実のためには、子供たち一人一人の取組状況をしっかり把握して、しっかりフォローしていくことが必要とのご意見もありました。

○教職員の評価から見えてきたこと

教職員の自己評価においては、平均値が3に満たない項目が多数見られました。特に評価が低かった項目は次の三つです。

【健康診断の事後指導により、治療を完了させることができたか・・・2.44】

【調べ学習等に図書資料を活用し、主体的な学習を推進することができたか・・・2.60】

【地域の危険箇所マップを意識させ、日常生活において安全に生活できる態度を育成できたか・・・2.63】

以上の結果から次の項目を重点的に行っていきます。

- ① 心に残る道徳の授業づくりに取り組むとともに児童の自己肯定感を育成していく。
- ② よく考え発表し、学び合う授業づくりに取り組む。
- ③ 虫歯等の早期治療を啓発していく。
- ④ 言葉遣い等について家庭と連携して改善していく。PTA全体で取り組むよう啓発していく。
- ⑤ 読書活動の推進や図書室の活用に取り組む。
- ⑥ 安全教育を推進する（危険箇所マップの活用も）
- ⑦ 全職員で各取組を確実に実施し、できるまで粘り強く指導していく。

*アンケート調査結果は、豊水小学校のホームページに掲載しています。

*アンケートは4段階評価ですので、2.5以上がよい評価と考えています。